

2022年6月期（第31期） 決算補足説明資料

2022年8月3日
アクモス株式会社

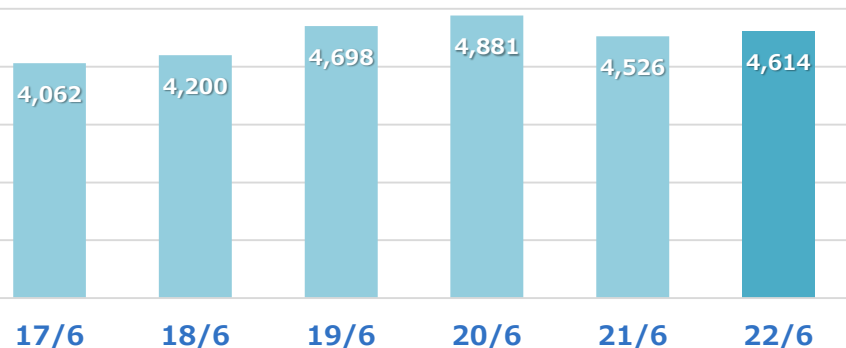
目次	■ 連結業績推移……………	2	■ 株主還元……………	17
	■ 2022年6月期 総括……………	3	■ 連結業績予想……………	18
	■ 連結営業利益分析……………	4	■ 参考資料……………	19
	■ 連結売上高・営業利益推移……………	5		
	■ 連結キャッシュ・フロー推移……………	6		
	■ 連結財政状態……………	7		
	■ セグメント情報 ITソリューション事業…	8		
	■ セグメント情報 ITサービス事業……………	9		
	■ 長期ビジョン2025・中期経営計画Ⅱ…	10		

連結業績推移

新規子会社取得費用が43百万円発生し、営業利益に影響
 中期経営計画 I と II の3年間平均の比較では、売上高は8%増、営業利益109%増

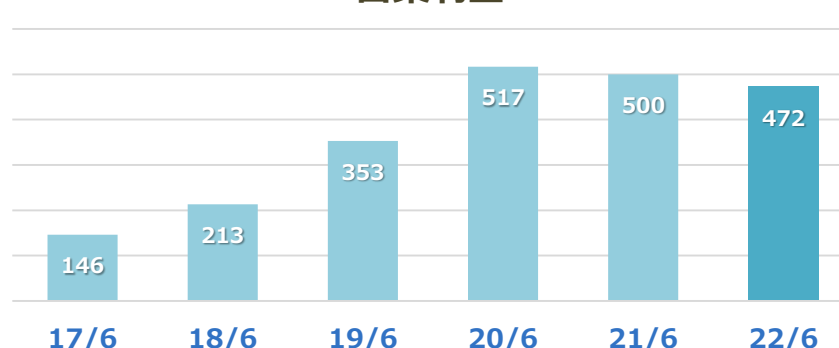
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



← 中期経営計画 I →

← 中期経営計画 II →

← 中期経営計画 I →

← 中期経営計画 II →

	2022年6月期		
	通期実績	当初予想 (2021/8/4発表)	中期経営計画 II 目標 (2019/8/2発表)
売上高	4,614百万円	5,000百万円	5,600百万円
営業利益	472百万円	510百万円	560百万円
経常利益	474百万円	510百万円	560百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	303百万円	345百万円	370百万円
株主資本利益率(ROE)	12.3%	13.0%	15.0%
営業利益率	10.2%	10.0%	10.0%

2022年6月期 総括

連結業績

売上高 4,614百万円（前期比2.0%増）、営業利益 472百万円（前期比5.5%減）

- 新規子会社取得に伴い発生した費用が連結上で費用計上され、営業利益が減少。当該費用を除いた実績では前期営業利益を上回る。

ITソリューション事業

SI・ソフトウェア開発分野 売上高 3,009百万円（前期比1.6%増）

- ・ 地図情報関連でコロナ禍による営業活動の制限で期首仕掛案件が少なかったこと、消防や宇宙関連の案件も少ない年度のため、営業展開や収益性の向上に取り組む。

IT基盤・ネットワーク構築分野 売上高 1,280百万円（前期比1.8%増）

- ・ 官公庁のネットワーク関連を中心に受注が伸長。
- ・ 自社セキュリティ製品の契約数やネットワークなどの運用保守も堅調に推移。

セグメント別事業の概況

ITサービス事業

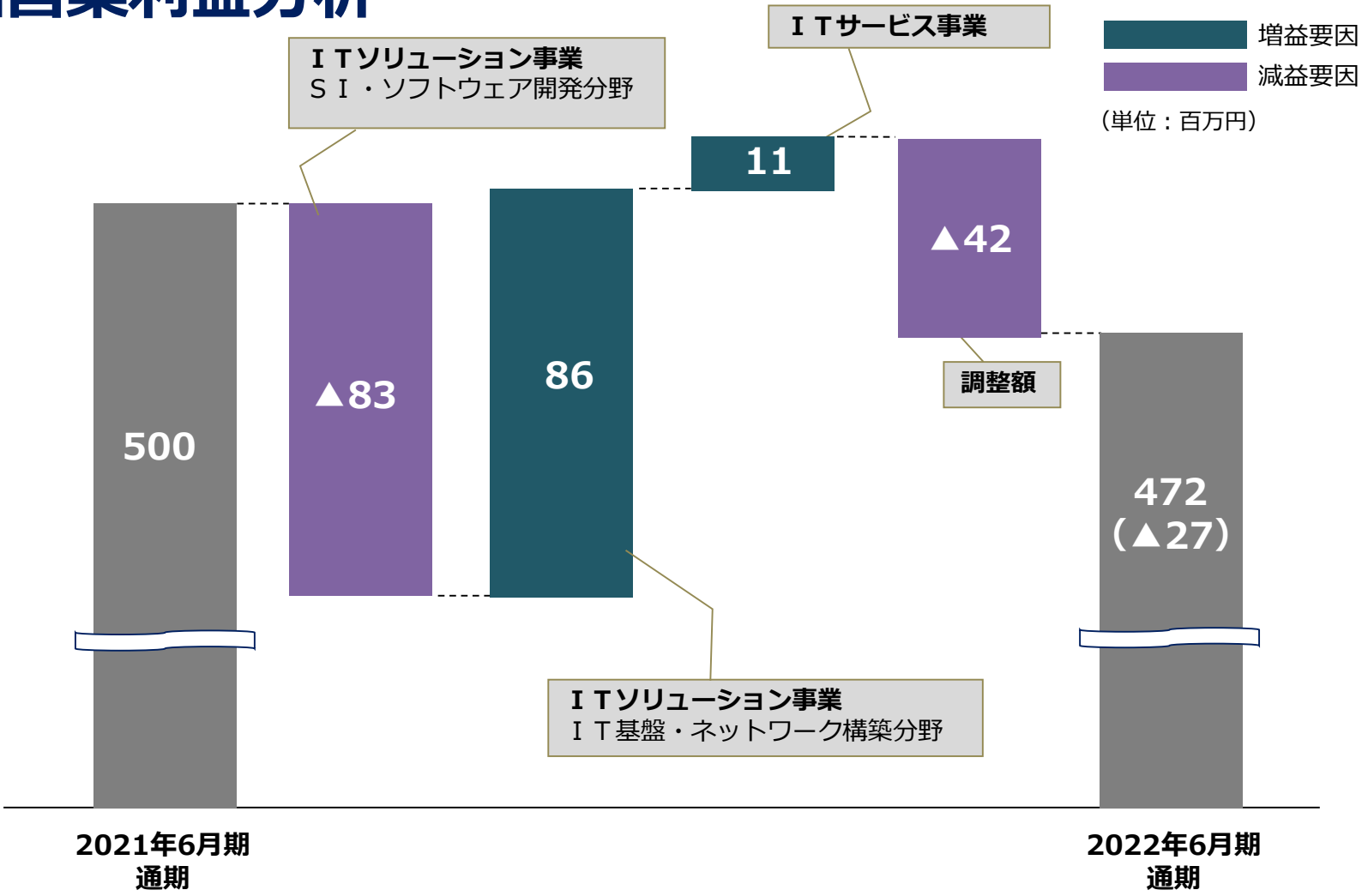
情報処理サービス分野 売上高 342百万円（前期比6.8%増）

- ・ 既存のお客様への深掘り営業活動により売上高が増加。
- ・ アンケート調査の紙からWEB化の提案をすすめるなどコロナ禍での環境変化に合わせた営業活動に加え、オンライン展示会への出展を積極的に実施。

株主還元

- 期末配当は当初計画通り、1株当たり13円(普通配当11円、上場25周年を記念した記念配当2円)を予定。

連結営業利益分析

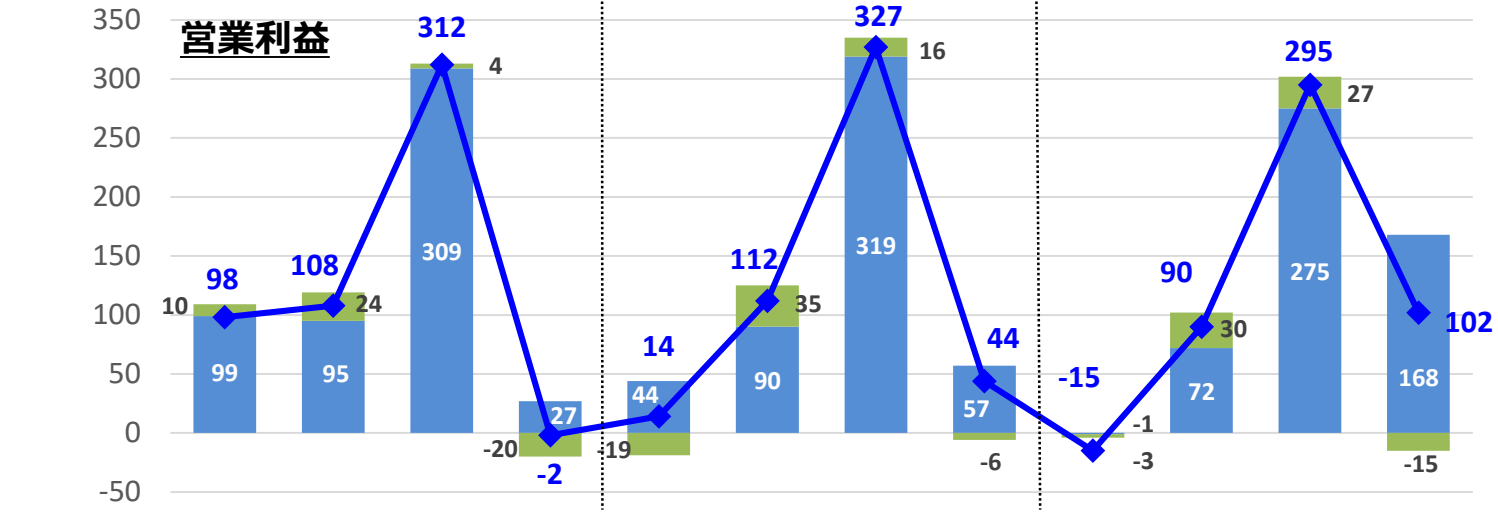
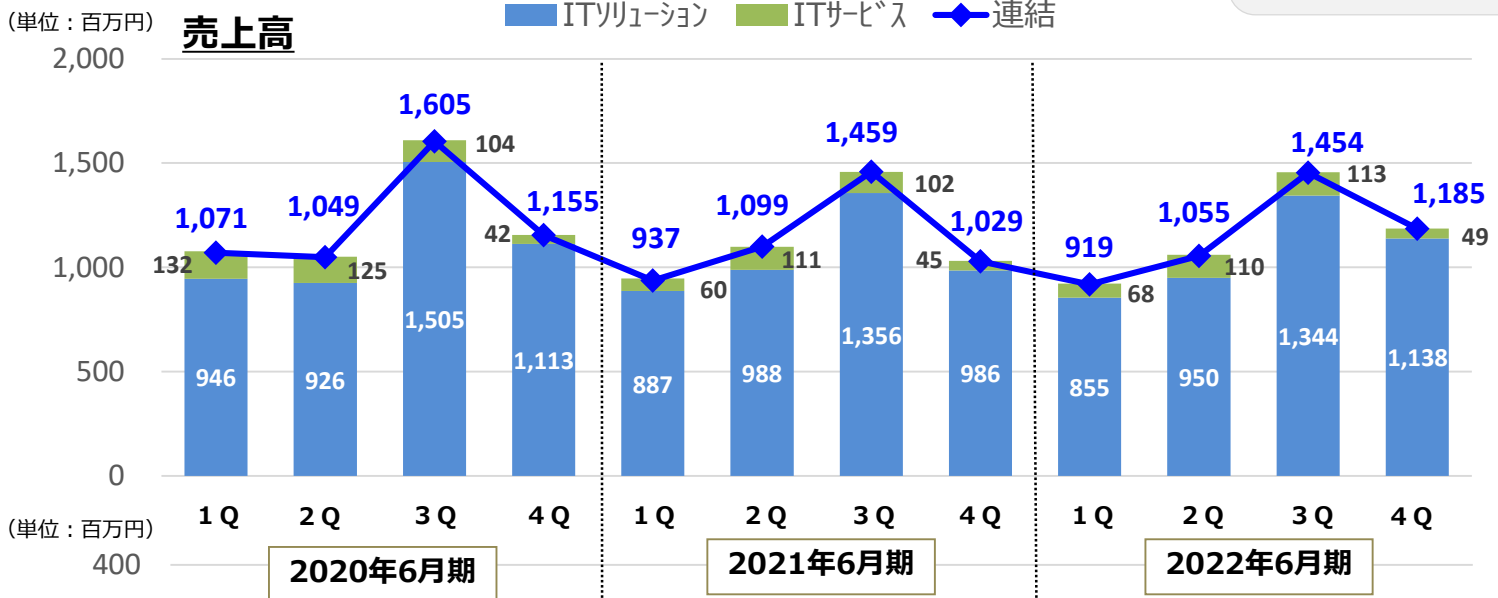


売上高88百万円 (SI・ソフトウェア開発+48, IT基盤・ネットワーク構築+22, ITサービス+21, 調整▲4)
営業費用116百万円 (SI・ソフトウェア開発+131, IT基盤・ネットワーク構築▲63, ITサービス+10, 調整+38)

※各セグメントの状況については、P8,9に記載しております。

連結売上高・営業利益推移

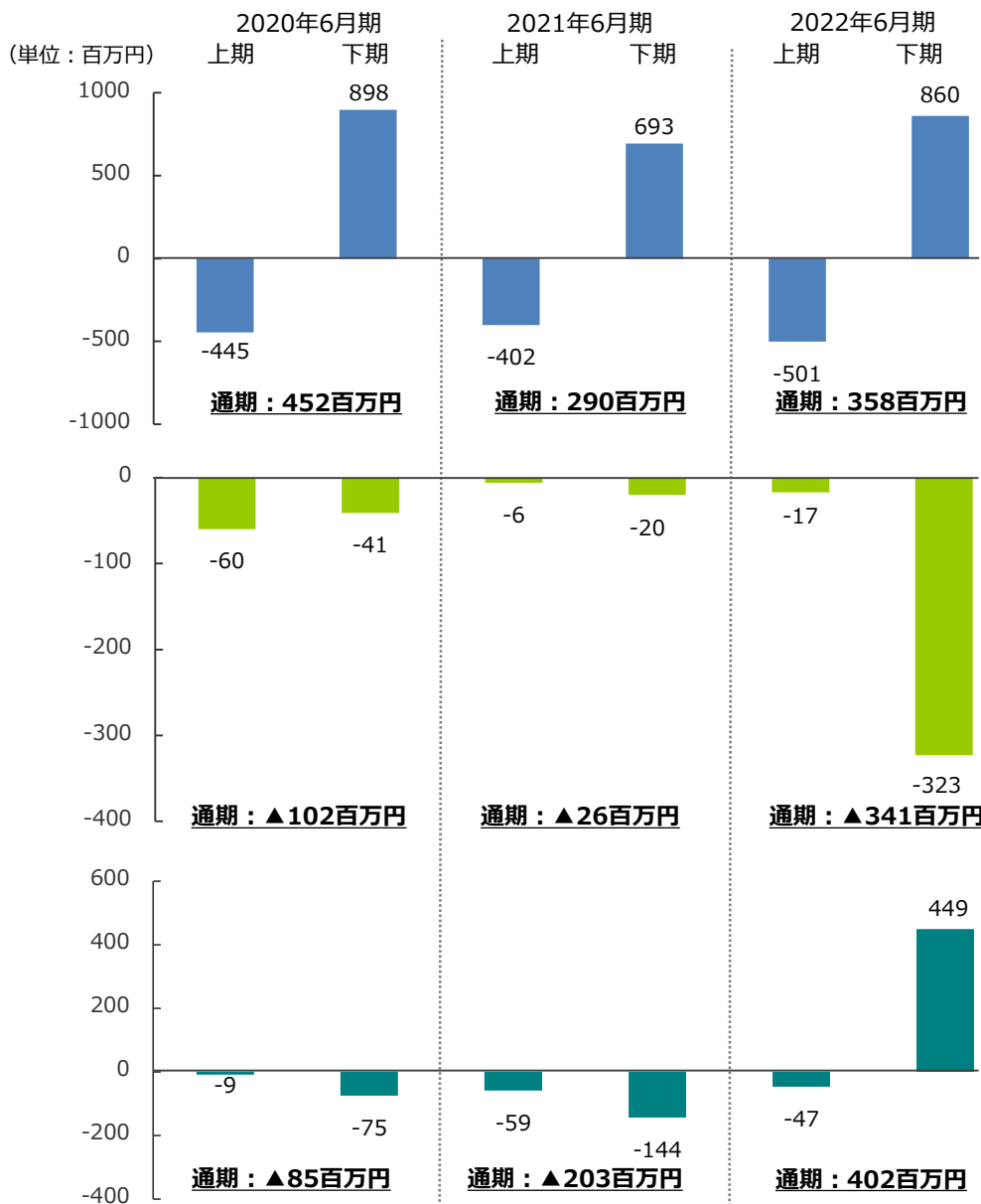
国内法人のお客様の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。



※各セグメントの売上高・営業利益には、内部取引分を含んでおります。連結の数値は、内部取引相殺後となっております。
 ※2022年6月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

連結キャッシュ・フロー推移

ITソリューション事業は、下期の3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが下期に増加する傾向にあります。



営業キャッシュ・フロー 358百万円

- ・法人税等の支払額 ▲171百万円
- ・税金等調整前四半期純利益 508百万円
- ・仕入債務の増加額 17百万円
- ・減価償却費 42百万円

投資キャッシュ・フロー ▲341百万円

- ・子会社株式の取得による支出 ▲376百万円
- ・投資有価証券の売却による収入 69百万円
- ・無形固定資産の取得による支出 ▲23百万円

財務キャッシュ・フロー 402百万円

- ・短期借入金の純増額 20百万円
- ・長期借入金の純増額 491百万円
- ・配当金の支払額 ▲106百万円

連結財政状態

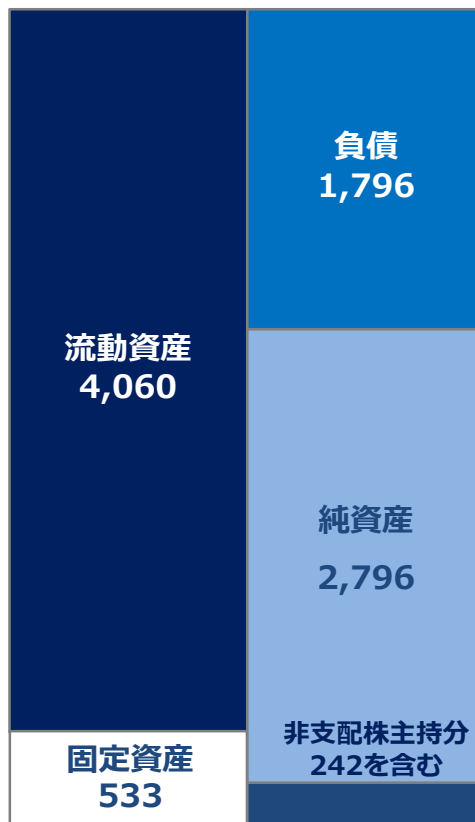
総資産は前期比で増加。
自己資本比率は55.6%

(単位：百万円)



2022年6月期

総資産 4,593 ※



(資産)

・現金及び預金の増加	479百万円
・受取手形及び売掛金の増加	145百万円
・商品の増加	342百万円
・前払費用の増加	36百万円
・保険積立金の増加	35百万円
・保証金及び敷金の増加	42百万円
・繰延税金資産の増加	41百万円
・投資有価証券の減少	40百万円

(負債)

・買掛金の増加	73百万円
・短期借入金の増加	20百万円
・長期借入金(1年内含む)の増加	491百万円
・前受金の増加	76百万円
・未払法人税等の増加	35百万円

(純資産)

・親会社株主に帰属する 当期純利益	303百万円
・その他有価証券評価差額金の 減少	28百万円
・配当金の支払い	107百万円

(単位：百万円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減
設備投資 + 研究開発費	43	61	18
減価償却費	47	42	▲5
有利子負債	123	635	511

※2022年6月期の総資産には、2022年6月30日付で取得した株式会社フィールドワンの流動資産941百万円、固定資産149百万円、負債201百万円、非支配株主持分177百万円を含んでおります。

セグメント情報 ITソリューション事業

SI・ソフトウェア開発で営業利益が減少したものの、IT基盤・ネットワーク構築が堅調に推移し増収増益

(単位：百万円)

	2021年6月期 通期	2022年6月期		
		通期	増減額	増減率
売上高	4,218	4,289	70	1.7%
外部	4,203	4,273	69	1.6%
内部	14	16	1	12.7%
営業利益	511	514	3	0.6%

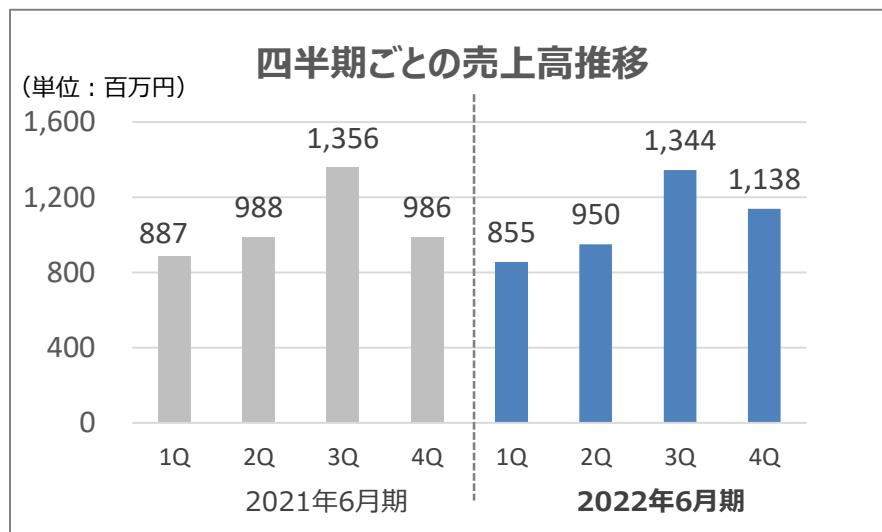
事業の概況 ※売上高、営業利益の()内は前期比

● SI・ソフトウェア開発分野

- 売上高3,009百万円(+1.6%)、営業利益285百万円(▲22.6%)
- 地図情報関連は、新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動の制限を受け前期からの仕掛案件が減少。
- 当期は消防や宇宙関連の案件が少ない年度にあたるため、営業展開や収益性の向上に取り組む。

● IT基盤・ネットワーク構築分野

- 売上高1,280百万円(+1.8%)、営業利益229百万円(+60.7%)
- 官公庁のネットワーク関連を中心に受注が伸長。
- 標的型攻撃メール対応訓練ソリューションの契約数やネットワークなどの運用保守も堅調に推移。



セグメント情報 ITサービス事業

既存のお客様への深掘り営業活動により売上高が増加。経費削減により利益率も改善

(単位：百万円)

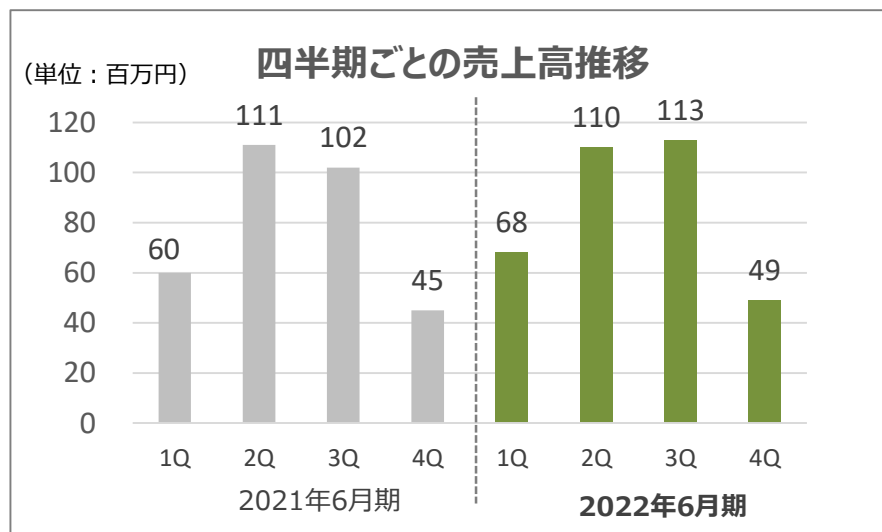
		2021年6月期	2022年6月期		
		通期	通期	増減額	増減率
売上高		320	342	21	6.8%
	外部	320	341	21	6.8%
	内部	0	0	0	—
営業利益		26	37	11	43.9%

事業の概況 ※売上高、営業利益の()内は前期比

● 情報処理サービス分野

売上高342百万円(+6.8%)、営業利益37百万円(+43.9%)

- ・既存のお客様への深掘り営業活動により売上高が増加。
- ・アンケート調査の紙からWEB化の提案をすすめるなど
コロナ禍での環境変化に合わせた営業活動に加え、
オンライン展示会への出展を積極的に実施。
- ・人財配置の適正化や効率化により資材経費を削減し、
利益率が改善。



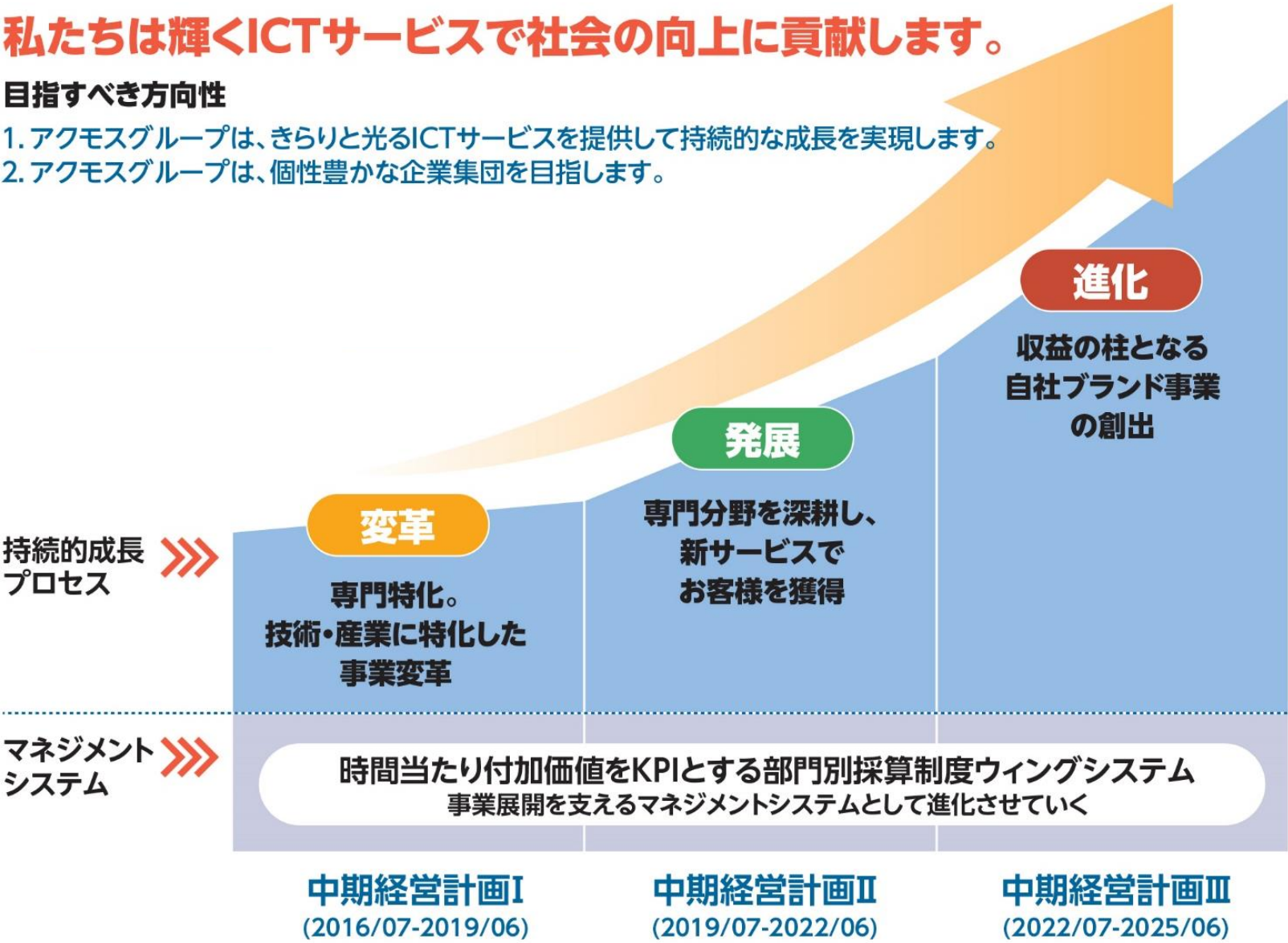
長期ビジョン2025
中期経営計画Ⅱ (2019/07~2022/06)

長期ビジョン2025

私たちは輝くICTサービスで社会の向上に貢献します。

目指すべき方向性

- 1. アクモスグループは、きらりと光るICTサービスを提供して持続的な成長を実現します。
- 2. アクモスグループは、個性豊かな企業集団を目指します。



中期経営計画Ⅱ (2019/07-2022/06)

個性豊かなグッドカンパニーへ

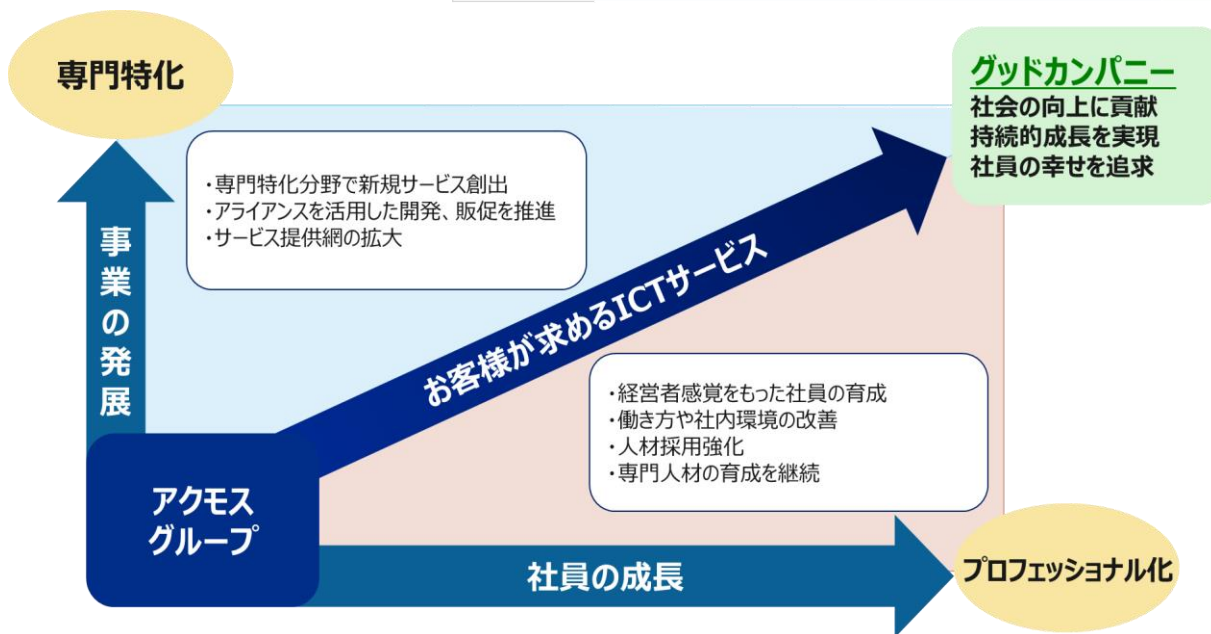
発展

専門分野を深耕し、
新サービスでお客様を獲得

事業の方向性

専門特化分野を強化し、
付加価値アップによる既存事業の収益力向上と、
成長の種となる自社サービスの創出・展開を推進

	ITソリューション		ITサービス
事業分野	SI・ソフトウェア開発	IT基盤・ネットワーク構築	情報処理サービス
専門特化分野	自治体（消防・防災）、 宇宙、自動車、空間情報	情報セキュリティ、医療	健康、教育



組織戦略

部門別採算管理ウイングシステムを引き続き推進し、
事業のさらなる進化を目指す

人財育成

- ・戦略的採用活動の推進による人財採用の強化
- ・専門性を高めるための人財育成を継続
- ・生産性向上にむけた働きやすい環境の整備

中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)総括

SI・ソフトウェア開発

専門特化分野：自治体(消防・防災)、宇宙、自動車、空間情報

- 2022年3月、富士通株式会社の戦略パートナー認定を受ける。
富士通グループとのデジタル領域での連携強化を推進。

自治体(消防・防災)

- 消防通信指令システムは、納品先の定期メンテナンスを実施。また、通信機能の改良を推進。
- 防災行政無線戸別受信機管理システム、消防・防災マルチディスプレイシステムの受注活動を推進。

宇宙関連

- 前期までに引き続き、衛星追跡・軌道情報システム案件に参画。

地図情報関連

- 民間の既存取引先の案件のほか、地方自治体の統計調査関連や、森林ICTプラットフォーム関連、消防GISや防災関連システム構築などを中心に業務を推進。
- 2022年4月、川崎市のGNSS(Global Navigation Satellite System：全球測位衛星システム)測量による大規模盛土造成地の経過観察に係る共同研究において共同研究者の一員として契約を締結。

IT基盤・ネットワーク構築

専門特化分野：情報セキュリティ、医療

情報セキュリティ

自社サービスの創出、展開

- 標的型攻撃メール対応訓練ソリューションは、サービス強化や営業活動を推進。
2021年4月、大同生命保険株式会社の中小企業向け「標的型攻撃メール対応訓練サービス」に採用。
追加契約・契約更新を含め、累計ライセンス数は延べ21万超。
- 2022年6月、添付ファイル分離メールゲートウェイソリューション提供開始。
※PPAP(パスワード付きZipファイルによるデータ送信)を行わず、今のメール環境そのままに安全にファイルを受け渡すことができるサービス。

パートナー推進、情報連携強化

- 2019年9月、セキュリティ診断サービスが経産省「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に登録。
- 2020年6月、内閣サイバーセキュリティセンター発足の「サイバーセキュリティ協議会」に加入。
- 2020年11月、Nutanix社のリセラーパートナーに認定。
- 2022年6月、Google Cloud Platform™のSellパートナー認定を取得。

医療系システム関連

- 病院内システム運用・保守は、三年間にわたり同水準の稼働数を維持。
- 医療情報技師資格の取得支援を続け、従業員育成に注力。
- 医療系システムでは、新システムへのデータ移行や仮想化デスクトップ案件に取り組むも、新型コロナウイルス感染症の影響もありスポット案件が減少。

情報処理サービス

専門特化分野：健康、教育

健康関連サービス

自社サービスの創出、展開

- クラウド健康管理システム『LIFEDESK®』の機能・サービスの強化を推進。
従業員の健康データ一元管理に生活習慣調査と従業員意識調査を加え、健康リスクのスコアリング機能を追加。
また、管理者機能(産業医、保健師、医療職向け)を拡充。
- 紙の健康診断結果をOCRでデータ化するサービスを商品化。
- WEBセミナー開催やオンライン展示会への出展を積極的に実施し、健康関連サービスの営業活動を推進。

EAP関連

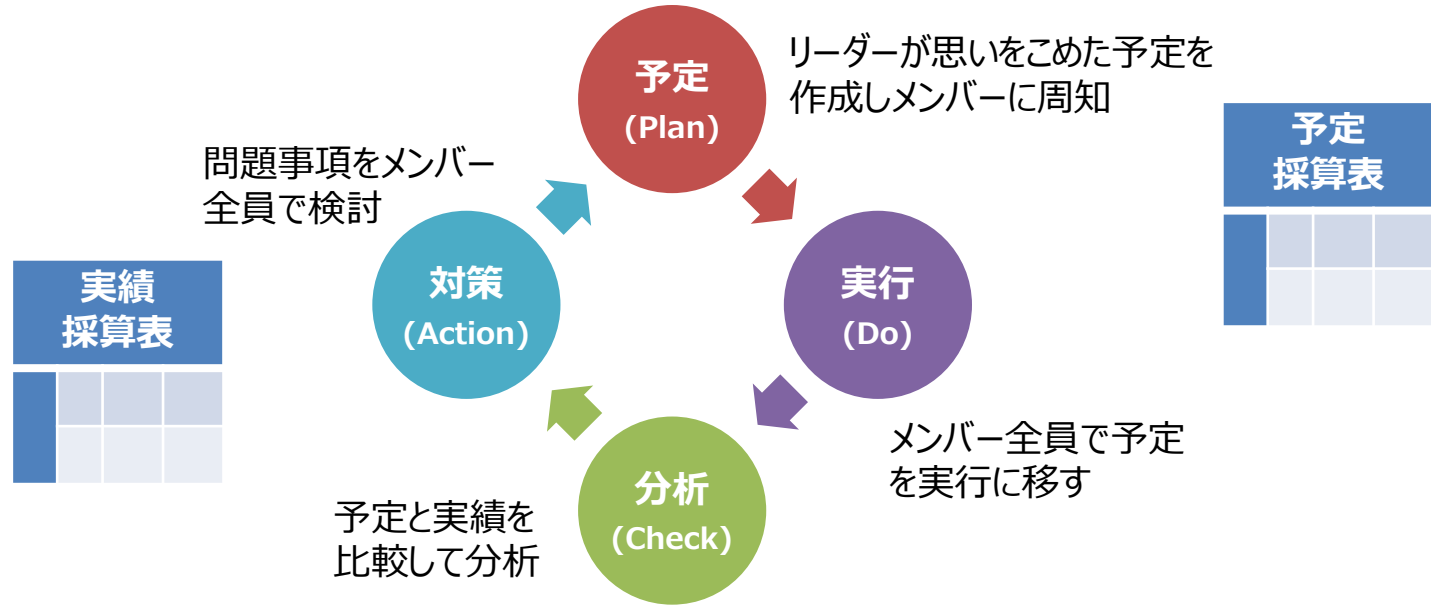
- ストレスチェック業務でシェア拡大のため営業活動を推進するも、
実施の延期、お客様側の業績悪化による予算縮小などの影響があり受注減。

※EAP：従業員支援プログラム

中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)総括 部門別採算管理制度ウィングシステム

2016年6月期よりアクモスで、2017年6月期よりグループ全社で導入。
指標「時間当たり付加価値」を活用し、小集団ウィングごとにPDCAを回しながら採算管理を推進。

当社の時間当たり付加価値の計算式
 $(\text{収入} - \text{労務費以外の経費}) \div \text{総時間} = \text{時間当たり付加価値}$



	2020年6月期 通期	2021年6月期 通期	2022年6月期 通期
時間当たり付加価値	3,730円	3,622円	3,738円

株主還元

安定的な期末配当の継続を目指す

2022年6月期の期末配当は、当初予想通り、1株当たり13円(普通配当11円、上場25周年の記念配当2円)を予定しており、2022年9月27日開催予定の第31回定時株主総会に付議いたします。

2023年6月期の期末配当予想は、1株当たり12円としております。

配当政策

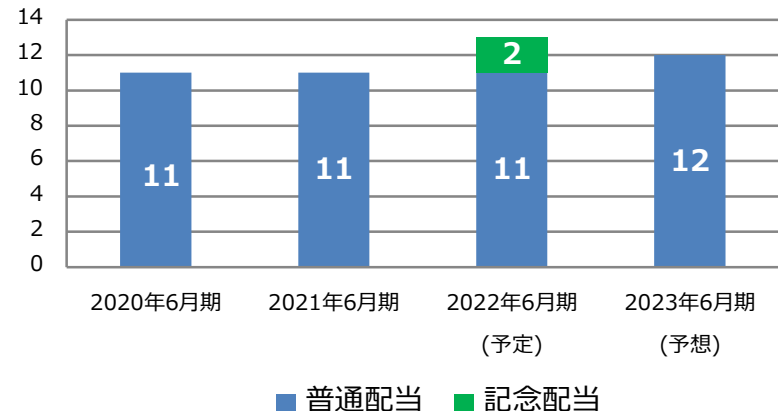
当社は株主の皆様に対する安定的な配当の実現を中長期的な重点課題として位置づけ、利益配分に関する基本方針に基づき配当を決定しております。

【利益配分に関する基本方針】

- 連結の親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向30%以上を目標に、連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う
- 配当原資確保のための収益力向上を図る
- 財政基盤の強化に努める

配当の状況（1株当たり年間配当金）

(単位：円)



2023年6月期 連結業績予想

2023年6月期では、中期経営計画Ⅲの1年目として「Good Business」「Good Members」「Good Value」の基本方針のもと、基幹事業と自社製品サービスによる新規顧客拡大、社員教育、売上の伸長による安定的な利益確保に取り組んでまいります。

今後の見通しについては、将来における受注及びプロジェクト進捗への影響、お客様からのご要望、新型コロナウイルス感染症への関係者の罹患といったリスクに対しての影響を正確に把握することは困難であります。予想修正の必要が生じた場合には、速やかに開示を行います。

連結	2022年6月期 通期実績	2023年6月期 通期予想	
売上高	4,614百万円	5,700百万円	23.5%
営業利益	472百万円	570百万円	20.6%
経常利益	474百万円	560百万円	18.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	303百万円	365百万円	20.2%
1株当たり当期純利益	31.08円	37.31円	—
株主資本利益率（ROE）	12.3%	17%	—
営業利益率	10.2%	10%	—

※ 中期経営計画Ⅲの詳細については、2022年8月3日発表『中期経営計画に関するお知らせ』をご参照ください。

※ 2023年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

参考資料

グループ内の事業譲渡、子会社の取得

2022年3月16日、SI・ソフトウェア開発分野の事業基盤強化を目的として、アクモスメディカルズ株式会社(旧社名：ACMOSソーシングサービス株式会社)のシステムソリューション事業部の事業を、2022年7月1日付でアクモスへ譲渡することを決議しました。

2022年6月30日、首都圏地区でのネットワーク保守・構築関連業務の成長を目的として、第三者保守サービスを営む株式会社フィールドワンをM&Aで連結子会社化しました。

東証・市場再編対応について

2022年4月4日より東京証券取引所の新市場区分「スタンダード市場」へ移行いたしました。

「収益認識に関する会計基準」の適用

2022年6月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しました。

新型コロナウイルス感染症への対応について

感染防止対策については、社員へのマスク着用やうがい・手洗いの徹底、テレワークの活用、会議や研修等でのリモート対応などの取り組みを継続しております。

また、研修の参加者や遠隔地への出張者には、お客様や社員の感染リスク低減を目的として独自にPCR検査を実施する取り組みを行っております。

アクモスグループ事業

当社グループは、事業持株会社の当社及び連結対象の子会社3社で構成されており、事業セグメントの区分をITソリューション事業、ITサービス事業の2つに分類しております。

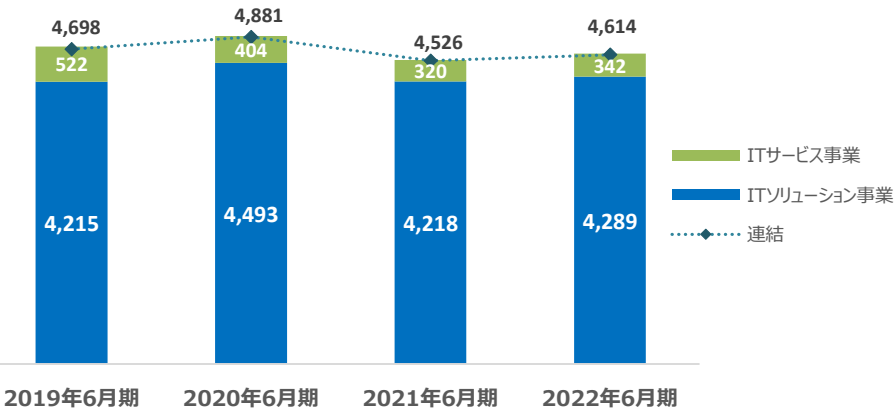
ITソリューション事業



ITサービス事業



セグメント別 売上高推移 (単位：百万円)



アクモスグループ一覽

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 URL : <https://www.acmos.co.jp>

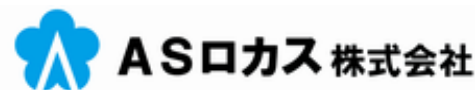
主要取引先 株式会社日立製作所、富士通株式会社、茨城県、茨城県警察本部、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、東日本電信電話株式会社、KDDI株式会社 他



ASロカス株式会社

設立 1980年1月 資本金 1億円
所在地 〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1丁目22番7号
TEL : 043-203-5301 FAX : 043-302-2077 URL : <https://www.as-locus.jp/>

主要取引先 株式会社マップル、一般財団法人消防防災総合センター、総務省、林野庁、千葉県、八王子市他官公庁、住友林業株式会社 他



株式会社フィールドワン (2022年6月30日付で連結子会社化)

設立 1982年7月 資本金 8,000万円
所在地 〒162-0053 東京都新宿区原町3-87-4 NTビル1階
TEL : 03-5368-2111 FAX : 03-5368-2112 URL : <https://field-one.com/>

主要取引先 凸版印刷株式会社、三井情報株式会社、シャープ株式会社、加賀FEI株式会社、日本電子株式会社 他



株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3131 FAX : 03-5217-3134 URL : <https://www.gstf.jp/>

主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合 他



アクモスメディカルズ株式会社 (旧社名 : ACMOSソーシングサービス株式会社)

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3332 FAX : 03-5217-3334 URL : <https://www.acmos-ms.jp/>

主要取引先 日本電気株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、東京医科大学病院、株式会社インテック、日野自動車株式会社 他



2022年6月末現在

連結貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	2,349,416	2,828,989	買掛金	119,405	192,616
受取手形及び売掛金	606,650	751,781	短期借入金 ※1	123,560	197,400
棚卸資産	65,643	398,636	未払金	183,600	185,234
その他	46,875	80,649	未払費用	407,767	400,977
流動資産合計	3,068,587	4,060,056	その他	216,695	342,263
有形固定資産	185,001	191,674	流動負債合計	1,051,029	1,318,490
無形固定資産	49,688	58,481	長期借入金	—	437,600
投資その他の資産	195,037	283,512	その他	6,086	40,671
固定資産合計	429,727	533,668	固定負債合計	6,086	478,271
			負債合計	1,057,116	1,796,762
			純資産の部		
			株主資本合計	2,349,520	2,554,899
			その他の包括利益		
			累計額合計	28,132	▲251
			非支配株主持分 ※2	63,545	242,314
			純資産合計	2,441,198	2,796,963
資産合計	3,498,314	4,593,725	負債純資産合計	3,498,314	4,593,725

※1 長期借入金（1年以内）を前期末に8,560千円、当期末に62,400千円含んでおります。

※2 連結子会社ASロカス株式会社は、株式会社昭文社ホールディングスが株式の19%を所有しております。
連結子会社株式会社フィールドワンは、同社の役員が株式の20%を所有しております。

連結損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2021年6月期	2022年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	4,526,256	4,614,931	88,675	2.0%
売上原価	2,866,575	2,857,532	▲9,042	▲0.3%
売上総利益	1,659,680	1,757,398	97,717	5.9%
販売費及び一般管理費	1,159,322	1,284,583	125,260	10.8%
営業利益	500,358	472,815	▲27,543	▲5.5%
営業外損益	2,061	1,610	▲451	▲21.9%
経常利益	502,420	474,425	▲27,994	▲5.6%
特別損益	23	34,147	34,123	—
税金等調整前 当期純利益	502,443	508,572	6,129	1.2%
法人税等	135,989	201,548	65,559	48.2%
非支配株主に帰属する 当期純利益	7,524	3,481	▲4,042	▲53.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	358,930	303,542	▲55,387	▲15.4%

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：千円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減	
	通期	通期		
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,479	358,891	68,412	23.6%
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲26,430	▲341,494	▲315,063	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲203,651	402,175	605,826	—
現金及び現金同等物の増減額	60,397	419,572	359,175	594.7%
現金及び現金同等物の期首残高	2,240,602	2,300,999	60,397	2.7%
現金及び現金同等物の期末残高	2,300,999	2,720,572	419,572	18.2%

単体貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,609,798	1,643,305	買掛金	82,753	99,588
受取手形及び売掛金	467,950	464,840	短期借入金 ※1	105,000	187,400
棚卸資産	27,920	19,148	未払金	87,601	93,870
その他	50,138	52,585	未払費用	306,485	302,724
流動資産合計	2,155,807	2,179,880	賞与引当金	18,796	18,662
有形固定資産	163,050	157,631	その他	202,438	223,752
無形固定資産	23,769	19,104	流動負債合計	803,074	925,998
投資その他の資産	587,769	1,310,157	長期借入金	—	437,600
固定資産合計	774,589	1,486,893	その他	6,086	7,069
			固定負債合計	6,086	444,669
			負債合計	809,160	1,370,668
			純資産の部		
			株主資本合計 ※2	2,093,103	2,296,357
			評価・換算差額等合計	28,132	▲251
			純資産合計	2,121,235	2,296,106
資産合計	2,930,396	3,666,774	負債純資産合計	2,930,396	3,666,774

※1 長期借入金（1年以内）を当期末に62,400千円含んでおります。

※2 自己株式を前期末に▲48,226千円、当期末に▲45,827千円含んでおります。

単体損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2021年6月期	2022年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	3,083,135	3,249,369	166,234	5.4%
営業利益	372,324	390,274	17,949	4.8%
経常利益	398,816	418,745	19,928	5.0%
当期純利益	298,636	301,418	2,781	0.9%

単体業績予想

単体	2022年6月期 通期実績	2023年6月期 通期予想	
売上高	3,249百万円	3,600百万円	10.8%
経常利益	418百万円	400百万円	▲4.5%
当期純利益	301百万円	280百万円	▲7.1%
1株当たり当期純利益	30.86円	28.62円	—

※ 2023年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

■ 本資料について

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社 経営企画管理部

TEL : 03-5217-3123

HP : <https://www.acmos.co.jp/>